

地域公共交通の利用促進に関する取組報告

令和7年3月28日

1 旅客船の発着に合わせた無料バスの実証

○ 路線バスの周知、利用者の実態把握を行い、地域公共交通の利用促進を図るため実証実験を実施

- ・ 船舶とバスとの乗り換え円滑化を考慮し、大島⇄東京の旅客船の発着に合わせ、無料で利用できるバスを運行

■実験実施概要

運行方法	通常路線バス便の無料運行
運行日	期間①：11/23(土)～25(月) 期間②：12/13(金)～16(月)
ルート・停車地	大島公園ライン全区間、波浮港ライン全区間※ ※早朝大型客船に接続する、岡田港発 元町港・御神火温泉行、大島町陸上競技場行を含む
運行時刻便数	実験期間に運行される東海汽船旅客船（計14便）に接続する大島バス路線バスの指定便 計39便
実施体制	・ 運行：大島バス（通常の路線バスとして運行） ・ 受注者が同乗し、利用者に対するアンケート調査、利用区間記録を実施

■実験対象便

東海汽船旅客船					大島バス				
東京・竹芝 ▶▶▶ 大島					大島公園ライン				
対象日	11月	—	23(土)	24(日)	25(月)	大島公園ライン	大島公園ライン	波浮港ライン	波浮港ライン
出帆港	12月	13(金)	14(土)	15(日)	16(月)	便	元町港 発	岡田港 着	大島町 陸上競技場 着
出帆港	船便	対象日・船の到着時刻				便	元町港 発	岡田港 着	大島町 陸上競技場 着
岡田港	大型客船	—	—	6:00着	6:00着	便	元町港 発	岡田港 着	大島町 陸上競技場 着
岡田港	1210便	10:15着	—	—	—	3	10:30	10:51	11:04
岡田港	1270便	—	10:15着	—	—	3	10:40	10:53*	11:14
岡田港	1220便	—	10:35着	—	—	3	10:30	10:51	11:04
岡田港	1230便	15:15着	—	15:15着	—	8	15:40	16:01	16:14
元町港	1210便	10:15着	—	—	—	3	10:30	10:51	11:04
元町港	1270便	—	10:15着	—	—	3	11:00	11:21	11:34
元町港	1220便	—	10:35着	—	—	3	11:00	11:21	11:34
元町港	1230便	15:15着	—	15:15着	—	8	15:40	16:01	16:14

赤字：旅客船との接続あり 青字：元町港で乗換可能

■実施状況



1 旅客船の発着に合わせた無料バスの実証

- ・実施にあたり、港などの主要施設でのポスター掲示・チラシ配布や、バス事業者等のウェブサイトやSNS等により実証実験を周知

■ポスター・チラシ

- ・約15の施設等でポスター約30枚の掲示、チラシ約3000枚を配布



■ウェブサイト・SNS

- ・大島バス・大島町のウェブサイトや、大島バス・大島観光協会等のSNSにより実験を周知



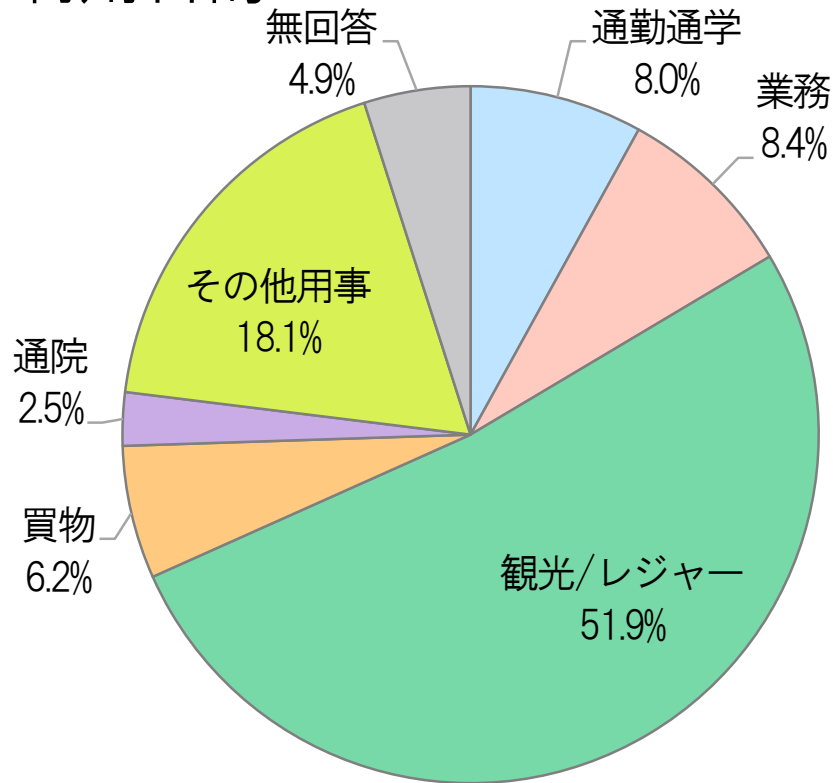
※東海汽船
にもリポスト
を依頼

1 旅客船の発着に合わせた無料バスの実証

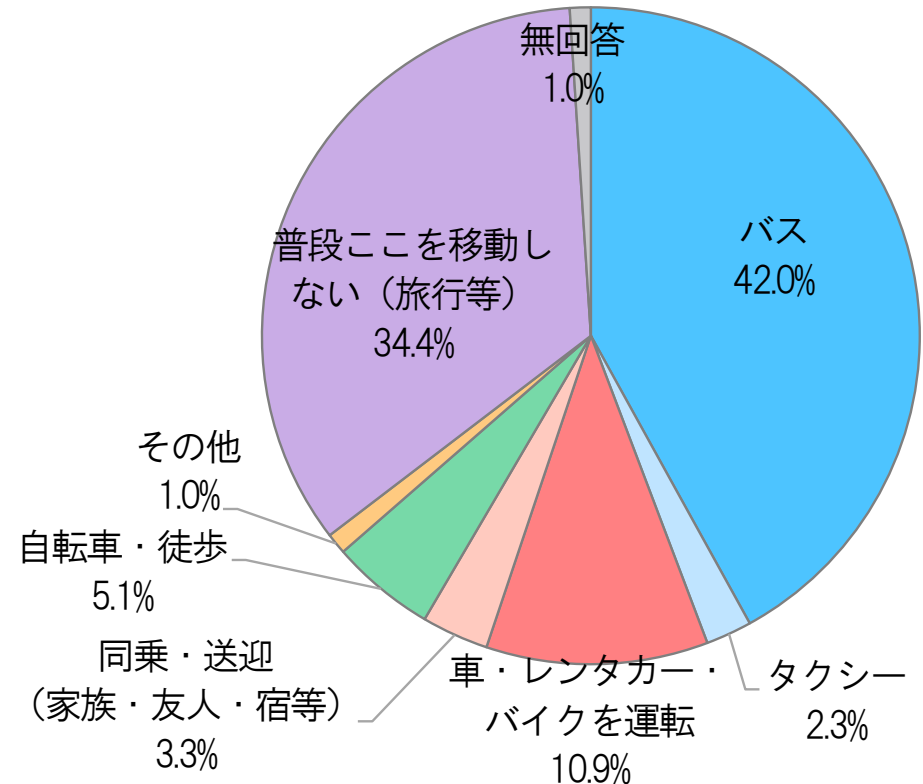
・ 実証実験の効果や課題を整理するため、利用実績の分析、利用者等を対象にした調査員乗り込みによるアンケートを実施

■ アンケート

利用目的



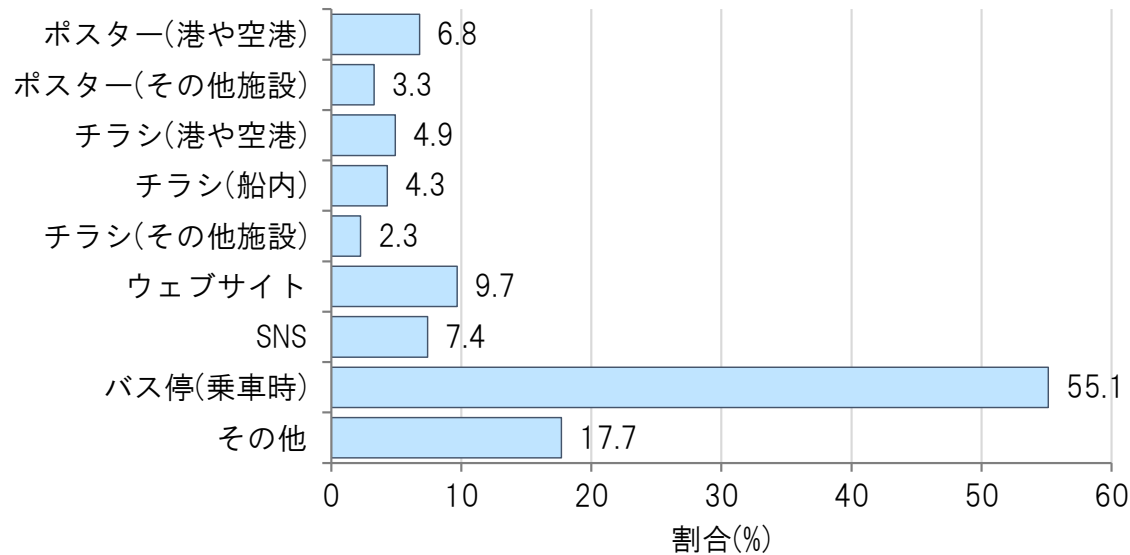
通常の利用手段



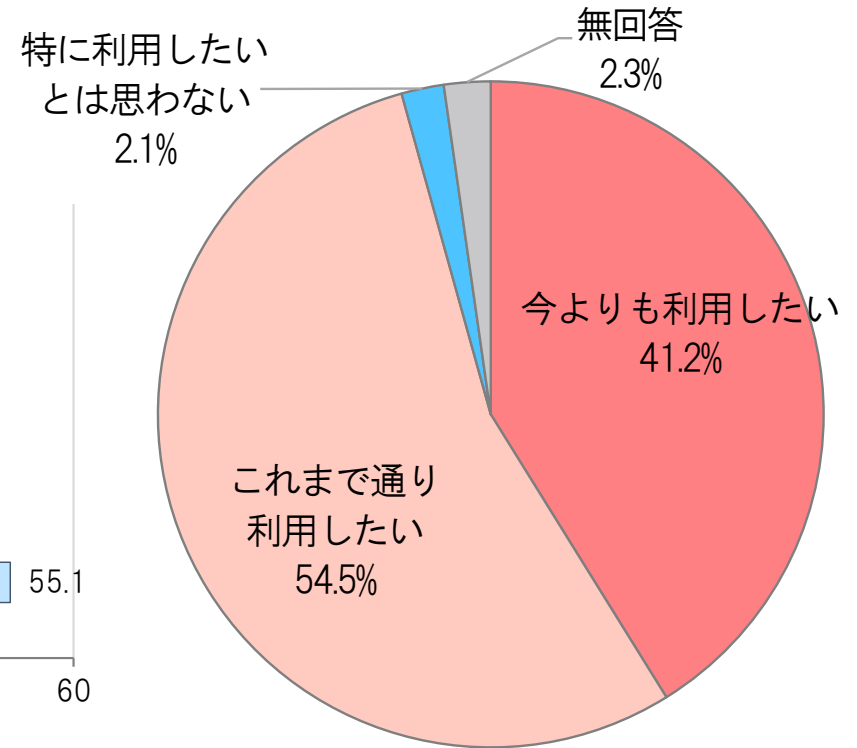
・ 自家用車利用からの転換も1割程度見受けられる。

1 旅客船の発着に合わせた無料バスの実証

実験認知方法



今後の利用意向



- ・ ウェブサイトにおいて一定の成果を得られたものの、全体としての認知度向上には至らなかった。

2 交通サービス推進策に関する調査

○ 地域公共交通の利用促進に向け、利用者の利便性を高めるツールを周知、調査を実施

- ・経路検索サービスやキャッシュレス決済など、大島バスが利便増進のため導入するツールの利用方法等について、利用手順リーフレットを作成し、港などの主要施設で配布

■ 作成したリーフレット



■ リーフレットの配布

- ・約15の施設等で約3,300枚を配布



2 交通サービス推進策に関する調査

- ・実施にあたり、ポスター掲示やバス事業者等のウェブサイト・SNS等により周知
- ・町のイベント（福祉まつりのバスの乗り方教室）とも連携し、周知を実施

■ ポスター

- ・約15の施設等でポスター約30枚を掲示



元町港



■ ウェブサイト・SNS

- ・大島バス・大島町のウェブサイトや、大島バス・大島観光協会等のSNSにより周知



■ 町のイベント等との連携

- ・福祉まつり(11/3)のバスの乗り方教室と連携し周知を実施
- ・アンケート調査(次頁)も実施

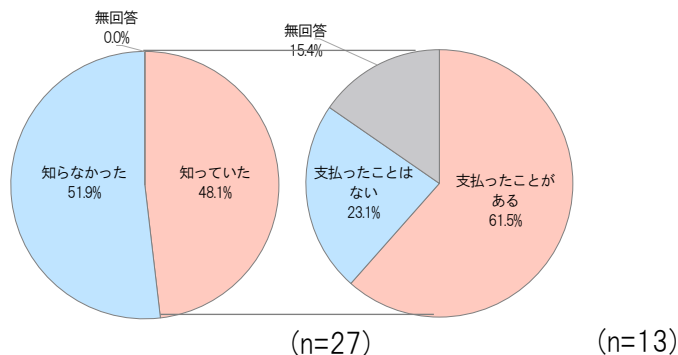


2 交通サービス推進策に関する調査

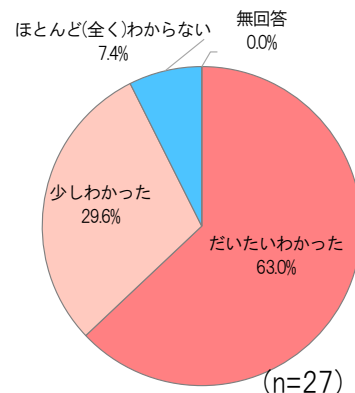
・ 利用促進策の活用意向を調査するため、リーフレットの受領者等を対象にしたアンケートを実施

■ アンケート

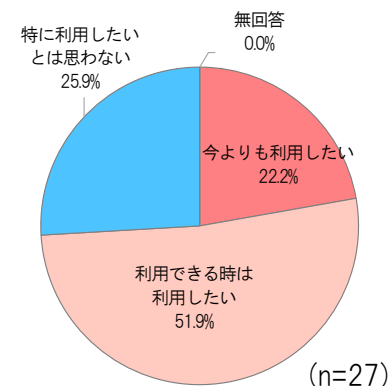
PayPay対応の認知度



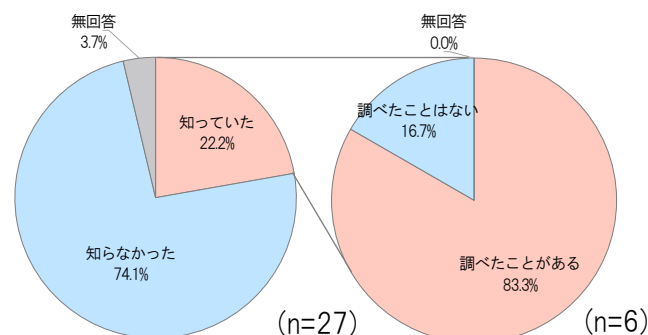
PayPayでの
支払い方法の理解



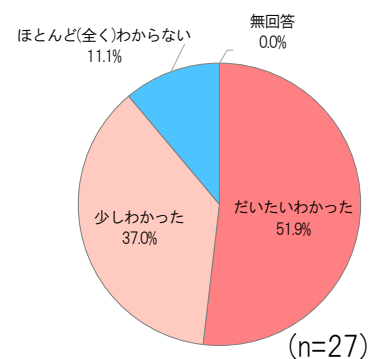
PayPay対応による
利用意向



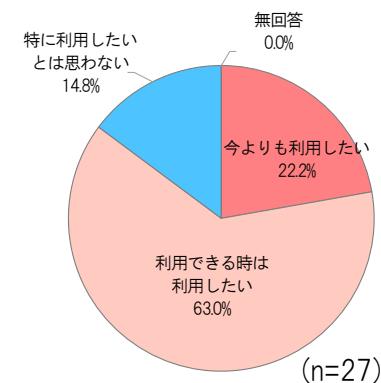
Googleマップ対応の認知度



Googleマップでの
検索方法の理解



Google対応による
利用意向



【利用促進策周知の効果】

・ Googleマップ・PayPayの対応に関する周知、利用方法について、一定の理解が得られたものと推察

3 まとめ

- ・ 路線バスの無料運行については、バスの利用機会の創出や関心喚起という点で一定の効果はあったものと推察。
- ・ リーフレットや関連する周知（ポスター・SNS等）により、大島バスでのGoogleマップ・PayPayの対応に関する周知、利用方法について、一定の理解が得られたものと推察。ウェブサイト等も活用し、動画や写真を効果的に活用した説明を行うことが必要
- ・ 公共交通の利用促進に関する取組で得られた知見については、本協議会に提供し、大島町での取組検討の参考としていただきたい